

テキスト・参考書 (購入方法などの詳細は本検定ホームページをご覧ください)

テキスト・参考書を活用して、①過去問題集を解いて出題傾向をつかむ。②過去問題集の解説やテキスト、高等学校農業用教科書で問題を確認する。③自分の苦手な領域を重点に②の確認を行う。④類似した出題もあるので過去問題集を何度も学習する—などの勉強方法も効果的です。

2025年版
日本農業技術検定
過去問題集
(2級・3級)
好評販売中!

農業技術学習の
スタンダード!
日本農業技術検定
2級テキスト
(改定新版)
内容を拡充して
2分冊で刊行
絶賛にて発売中

- | | |
|-----------|--|
| 3級 | (1) 2025年版過去問題集3級 (発行)全国農業会議所
*2022年度、2023年度、2024年度試験問題6回分を収録
(2) 日本農業技術検定3級テキスト (発行)全国農業高等学校長協会
(3) 文部科学省検定教科書 高等学校農業用 (発行)教科書出版会社 |
| 2級 | (1) 2025年版過去問題集2級 (発行)全国農業会議所
*2024年度試験問題2回分を収録
(2) 日本農業技術検定2級テキスト(改訂新版)注 (発行)全国農業会議所
(3) 文部科学省検定教科書 高等学校農業用 (発行)教科書出版会社 |
| 1級 | (1) 1級学科試験問題…日本農業技術検定協会(全国農業会議所)
*2022、2023、2024年度試験問題、年度ごとに実費販売
(2) 日本農業技術検定1級参考図書…農業関係出版社 |

※1級試験問題は過去問題の出版物はありません。ホームページをご覧くださいの上、本検定協会事務局宛にメールにてご連絡ください。実費でコピーして送付いたします。

※テキスト・参考書については、それぞれの発行元にお問い合わせください。 全国農業高等学校長協会 TEL.03-5357-1666
注)2級テキスト(改訂新版)は2分冊(I 農業一般・作物・野菜、II 農業一般・花き・果樹・畜産・食品)で、発行は全国農業会議所です。

高校での団体受験の取組紹介

兵庫県立農業高等学校

いのちの根幹をはぐくむ農業の学び その知識の確認として日本農業技術検定を!

兵庫県立農業高等学校は、「ゆたかな情懷 たゆまぬ研鑽」の校訓のもと、日々、作物や動物、自然やそれらを取り巻く環境に触れ、広い知識・技術と科学的な分析・経営能力をもつ農業のスペシャリストの育成を目指しています。また、ニュージーランドのフレイザー高校とパートナーシップ協定を結び、グローバル人材の育成や国際理解の啓発に努めています。

このような校風のもと、学業はもとより、農業クラブ専門部会での活動や地域貢献・産官学連携に積極的に取り組み、また、日頃の学習成果として専門的領域の基礎知識の定着を図るため日本農業技術検定を継続して団体受験しています。受験者数は毎年100名を超え、2024年度には延べ205名が受験し、うち70名以上が2級にも挑戦して、2019年度以来2回目の2級最優秀校に選ばれました。

同校は、かねてから先輩やクラスメートなど学校全体に技術検定受験への機運醸成が図られており、3級においても例年8割前後の合格率を誇っています。特に、クラス全員3級合格を目指す学科では、教室の書棚に技術検定開始当初からの過去問題集やテキストが積み重なり、生徒が授業の中で学習できるように、先生方の支援体制も整っています。

1年生で3級を取得した2年生の多くは果敢に2級に挑戦します。その際に役立つのが教科書の応用編とも言える研究会活動などで得た知識や技術です。2年生で2級を取得した生徒は、テキストで理解を深め、過去問題集で実践力を磨き、そして課外活動で応用力を養い、合格を勝ち取っています。

2級、3級を取得しアグリマスター(顕彰制度)の上位顕彰につなげることは、希望する大学等への進学や就職する際に客観的評価として調査書・内申書等に提示できます。日頃の授業を通して学び得た専門的な基礎知識および発展的な技能の定着指標として、技術検定の資格取得は生徒のキャリアアップや卒業後の進路に着実に活用できています。

私たちも応援しています! — 日本農業技術検定への協賛企業・団体



お問い合わせ

日本農業技術検定協会 (事務局: 一般社団法人 全国農業会議所)
〒102-0084 東京都千代田区二番町9-8 中央労働基準協会ビル2階
TEL: 03-6910-1126 FAX: 03-3265-5140 e-mail: kentei@nca.or.jp

日本農業技術検定協会 構成団体 (一社)全国農業協同組合中央会、全国町村会、全国農業高等学校長協会、全国農業大学校協議会、全国農学系学部長会議、全国大学附属農場協議会、(公社)日本農業法人協会、(一社)全国農業改良普及支援協会、(公財)農民教育協会、(公社)国際農業者交流協会、(一社)日本農業機械化協会、(一社)全国農協観光協会、(一社)農山漁村文化協会、(一社)全国農業会議所【事務局】



2025年度農林水産省・文部科学省後援

日本農業技術検定

試験日 第1回 **7/5** 土 第2回 **12/6** 土

応募期間	第1回	4月25日(金)~5月30日(金)	受験級	第1回	3級	2級
	第2回	9月29日(月)~10月30日(木)		第2回	3級	2級

学習の成果を発揮しよう!

進学や就職に向けて農業知識のスキル向上を!



兵庫県立農業高等学校の皆さん

日本農業技術検定は、農業の知識や技術の習得水準を評価して、教育研修の効果を高めることを目的とした全国統一の農業専門の試験制度です。就農、農業系大学への進学、農業法人・関連企業への就業をめざす学生や社会人など、すでに38万人が受験しています。

高校で学び身に付けた農業の実践的知識の成果として、農業技術検定の資格取得に取り組みましょう。進学や就職に向けたスキルアップにつながり、農業の資格が将来の可能性を大きく広がります。

実施主体

日本農業技術検定協会 (事務局: 一般社団法人 全国農業会議所)
<https://www.nca.or.jp/support/general/kentei/>



農技検 日本農業技術検定 概要

第1回

2025年7月5日(土)

3級 10:00~10:40 (40分)

2級 11:10~12:10 (60分)

応募期間

第1回 4月25日(金)~ 5月30日(金)

第2回 9月29日(月)~10月30日(木)

試験会場

一般受験は東京・大阪等各地の指定会場

団体受験は試験実施団体の準備・提供した会場

【2024年度優秀表彰団体(農業高等学校の部)】

〔3級〕最優秀団体:秋田県立能代科学技術高等学校、岐阜県立岐阜農林高等学校、優秀団体:北海道大野農業高等学校、宮城県農業高等学校、栃木県立宇都宮白楊高等学校、東京都立園芸高等学校、富山県立南砺福野高等学校、長野県上伊那農業高等学校、長野県下伊那農業高等学校、静岡県立静岡農業高等学校、静岡県立小笠高等学校、静岡県立藤枝北高等学校、愛知県立鶴城丘高等学校、三重県立四日市農芸高等学校、大阪府立農芸高等学校、島根県立出雲農林高等学校、山口県立田布施農工高等学校、福岡県立久留米築水高等学校、佐賀県伊万里実業高等学校

〔2級〕最優秀団体:兵庫県立農業高等学校、優秀団体:東京都立園芸高等学校、東京都立農芸高等学校、東京都立農業高等学校、東京都立瑞穂農芸高等学校、神奈川県立相原高等学校、岐阜県立岐阜農林高等学校、静岡県立静岡農業高等学校、静岡県立磐田農業高等学校、愛知県立安城農林高等学校、佐賀県立高志館高等学校、宮崎県立宮崎農業高等学校、宮崎県立高鍋農業高等学校、沖縄県立中部農林高等学校

●拓殖大学北海道短期大学、秋田県立大学、茨城大学、高崎健康福祉大学、玉川大学、東京農業大学(神奈川、北海道)、日本大学、静岡県立農林環境専門職大学、名城大学、新潟食料農業大学、信州大学、龍谷大学、京都先端科学大学、摂南大学、鳥取大学、県立広島大学、佐賀大学、東海大学(熊本)、大分短期大学、南九州大学、宮崎大学、琉球大学、では大学生の団体受験を進めています。多くの大学では学生がもともと農業経験もないため、大学での農学習得の補強手段として活用されているほか、日本大学生物資源科学部では農場実習の中で本検定受験に取り組んでいます。

●JA新はこだて、JA東京中央、JAマインズ、JAかながわ西湘、JA梨北、JAぎふ、JAふじ伊豆、JAあいち豊田、JAこうか、JAとなみ野、JA長野中央会、JA上伊那、JAあづみ、JA信州うえだ、JA信州諏訪、JA佐久浅間、JAみなみ信州、JA松本ハイランド、JA大阪泉州、JA大阪南、JA丹波ひかみ、JA兵庫六甲、JA和歌山中央会、JA香川県、JA福岡中央会、JA粕屋、JA福岡市、JA糸島、JAふくおか八女、JA柳川、JAくるめ、JA長崎せいひ、JAくま、JAおおいだ、JAあいら、JAおきなわ、では営農指導力の向上や一般職員のキャリアアップを目的に団体受験を実施しています。

●県連グループとして、営農指導員上級資格の要件の一つとして、一般職員は全員3級資格を取得する取り組みを進めるところもあります。

●本検定の上位資格は、一定の農業に関する実務的知識を習得していることの証明になります。

試験方法

〔3級〕 学科試験のみ

〔2級〕 学科試験+実技試験

〔1級〕 学科試験+実技試験

※1級、2級も学科試験のみの受験が可能です。学科に合格した場合は、「学科試験合格証明書」を発行します。なお、1級・2級実技試験は免除措置があります。詳しくは本検定ホームページをご覧ください。

試験科目	3級	2級	1級
3級試験科目	農作業の意味がわかる入門レベル 主な受験対象：農業高校生	農業一般として共通10問 ■「栽培系」「畜産系」「食品系」「環境系」から1科目選択で20問。ただし、「環境系」は、環境共通10問と3分野(造園、農業土木、林業)の各10問から1分野選択 ■ 四者択一のマークシート方式による計50問	農業一般として共通20問 ■「作物」「野菜」「花き」「果樹」「畜産」「食品」から1科目選択で40問 ■ 五者択一のマークシート方式による計60問
2級試験科目	農作物の栽培管理等が可能な基本レベル 主な受験対象：JA営農指導員・大学生	農業一般として共通10問 ■「作物」「野菜」「花き」「果樹」「畜産」「食品」から1科目選択で40問 ■ 五者択一のマークシート方式による計50問	農業一般として共通20問 ■「作物」「野菜」「花き」「果樹」「畜産」「食品」から1科目選択で40問 ■ 五者択一のマークシート方式による計60問
1級試験科目	農業の高度な知識・技術を修得している実践レベル 主な受験対象：JA営農指導員・大学生	農業一般として共通10問 ■「作物」「野菜」「花き」「果樹」「畜産」「食品」から1科目選択で40問 ■ 五者択一のマークシート方式による計50問	農業一般として共通20問 ■「作物」「野菜」「花き」「果樹」「畜産」「食品」から1科目選択で40問 ■ 五者択一のマークシート方式による計60問

第2回

2025年12月6日(土)

3級 10:00~10:40 (40分)

2級 11:10~12:10 (60分)

1級 13:00~14:30 (90分)

受験料(税込)

	一般受験	団体受験	団体受験(学生割引)
3級	3,140円	2,620円	1,570円
2級	4,190円	3,350円	2,090円
1級	5,240円	4,190円	2,620円

※複数級受験割引=学科の「3級と2級」又は「2級と1級」を同一検定日に受験の場合、受験料を1,000円割引。

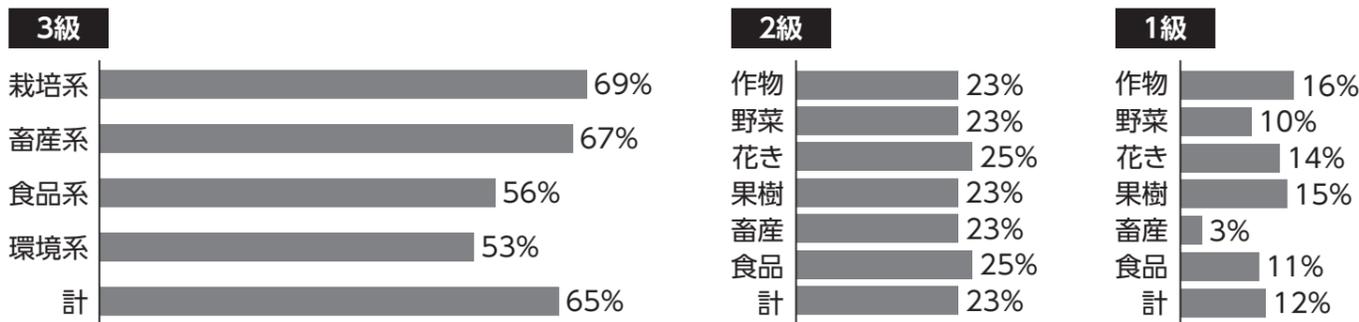
日本農業技術検定の受験実績

①全体受験実績(2019~2024年度)

(受験者数
合格率)

	3級	2級	1級	合計
2019年度	19,992人(59%)	5,311人(23%)	266人(7%)	25,569人(51%)
2020年度	18,790人(66%)	3,015人(21%)	206人(7%)	22,011人(59%)
2021年度	20,939人(66%)	5,908人(23%)	265人(5%)	27,112人(56%)
2022年度	17,932人(63%)	5,024人(21%)	243人(13%)	23,199人(54%)
2023年度	17,573人(66%)	4,447人(23%)	261人(10%)	22,281人(57%)
2024年度	17,984人(65%)	4,580人(23%)	278人(12%)	22,842人(56%)

②科目別合格率(2024年度)



③合格基準

〔3級〕 100点満点の原則60%以上

〔2級〕 100点満点の原則70%以上

〔1級〕 120点満点の原則70%以上

実技試験

(2級、1級試験では学科のみの受験も可能です。学科試験合格者には学科試験合格証明書が交付されます。実技試験までご希望の方は以下をご参照ください)

①2級実技試験免除

2級実技試験(ほ場での農業機械についての実地検定)の希望者は11月に受験の機会があります。農業系の学校(農業高校、農業大学校、大学等)での所定の農業機械等の農場実習、農業経験(JAの営農指導経験を含む)1年以上、2級実技試験免除規定に指定する農業用機械・食品加工の2機種(工程)以上の講習を修了していれば免除が可能となります。

学校での2級団体受験の場合は、学校(団体)としての2級実技免除手続きをお勧めします(5年間有効)。具体的な手続きは本検定ホームページをご覧ください。

※農業機械の実習証明に必要な講習会については、本検定ホームページをご参照ください。

②1級実技試験免除

1級実技試験(12月の1級学科試験と同日に実施)は1級学科試験合格者の希望により受験が可能です。農業系の学校等での農場実習等4単位取得者又は2年以上の営農実務経験を有する方は免除が可能となります。詳細は本検定ホームページをご覧ください。

申込方法

お申し込みは
ホームページから ▶ <https://www.nca.or.jp/support/general/kentei/>

①一般受験

個人がインターネットで申し込む場合は、申込方法の「一般受験」画面から申し込む。

雇用就農資金支援対象の雇用就農者は、都道府県農業会議が受験者を取りまとめてインターネットで申し込む。

※受験料の振込先口座番号は受験者(団体)別になっており、毎回変わります。所定の振込口座へ、応募期間内に受験料をお振込みください。

②団体受験

学校・JA・農業法人など要件(受験者5名以上、試験会場を提供、試験官1名以上担当など)を満たす実施団体がインターネットで申し込む場合は、申込方法の「団体受験」画面から申し込む。